

## 第 1 回 ローター財団研修セミナー報告

(2018 年 8 月 2 日 第 1110 回例会)

報告者：小濱 彰男

7 月 21 日（土）に岐阜グランドホテルにて第 1 回ローター財団研修セミナーに北出副会長と二人で参加させていただきました。

当地区「国際ローター第 2630 地区」のローター財団委員会は、

- ① 資金推進小委員会（R 財団へのより一層のご理解と推進）
- ② ポリオ・プラス小委員会（ポリオ撲滅活動）
- ③ 資金管理小委員会（厳正な補助金管理）
- ④ 補助金小委員会（補助金や奨学金の管理）
- ⑤ 学友委員会

の五小委員会で構成されております。

冒頭の挨拶では、主にロータリアン増強のお話で発展途上国では、増員に向かっているけれども、先進国では、減少傾向にある。拳句の果てに会員減少は、ローターに魅力が無いと若い人達は感じていると嘆き節を頂き、上層部がこのような考えではと、悲しくなりました。セミナーを多く開催しているのは会員増強（寄付の増進）といつも同じことばかりの研修です。私ごとの考えではありますが、少子化による人口減少、更にはサラリーマンの平均給与、大卒の初任給は、1991 年頃よりさほど変化が無く、ここ 1~2 年では、減少傾向が見られます。更に最低賃金の UP で中小企業は、苦しい経営が続くと思われます。このような状況下でローターの会員増強は正しい目的なのか疑問に思えてきます。

先日、立ち話の中で奥村先輩会員が“NO”と言えるローターも入用だとおっしゃられるのを聞き、それもローターだと思いました。ローターは、個々の奉仕で目的があって目的が無い様に思われます。なぜなら永遠に変化する目的を追求する団体で節度ある人が継続を実行するとの思いで拝聴させて頂きました。

ポリオについては、元 UNICEF 西中央アフリカ市域事務所ポリオ予防接種、モニタリング、評価担当の「國枝美佳 様」よりご講義を頂き、2013 年 5 月には、2 億 5,000 万人の子供に数回実施、70 ヶ国で毎日実施するため、55 億ドルの予算が必要とのことでした。

2013 年~2018 年にわたり、“ビル・ゲイツ財団”がローター財団の 2 倍額を上乗せしていただいたため、ポリオ常在国は、パキスタン・アフガニスタン・ナイジェリアの 3 ヶ国を残すのみとなったそうである。

ローター財団部門委員会小委員会（資金推進小委員会、ポリオ・プラス小委員会、資金管理小委員会、補助金小委員会）の説明は補助金小委員会に多くの時間が割かれていましたが、その中でも地区補助金、グローバル補助金、奨学金、学友、V T T（職業研修）と 4 つに分かれておりましたので、全体としては、一人 10~15 分の紹介・説明でした。補助金に関して、興味のある方もおいでかと思いますので、利用例・支給規定などを記したセミナー時に配布された資料を事務局に置いておきますので参考にしてください。

